

よこはた和幸事務所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

令和6年第1回定例会市会（予算議会）

神戸の未来！次の世代への投資型予算！

2月15日から3月26日まで予算議会が開催されました。神戸市の1年間の方向性を決める大事な予算議会です。総額1兆9,270億円（前年度より389億円+）となります。若い世代に神戸を選んでいただけるような強気な施策が出ています。これからは人口減少に対して攻めの姿勢で行かねばなりません。震災から30年関連行事なども行われる予定です。これを機に減災や備えること、家族で避難ルートの確認などしていただきたいと考えます。

また、皆様からお預かりした大事な税金を1円でも無駄にしないように、誠心誠意努めて参りました。今回は、将来への世代への投資など前向きな政策が出ていますので、新規事業等をご報告させていただきます。



Point 皆さまのお役に立てる各種制度まとめました。
新たな支援施策とあわせてご報告いたします。

市議会での発言内容は
ホームページからご確認ください



高校生等通学定期券補助

子供のいる世帯への経済負担の大きいことから支援を決定しました。9月より全額の補助となります。市内在住高校生2万人見込みで平均負担額約93,500円と計上しています。

市民が市内高校に通う場合の通学定期代を **無料化**

現行	対象	基準額 / 月	負担
	市内・市外高校	12,000円	半額
+			
拡充後	対象	基準額 / 月	負担
	市内高校	—	無料

1. 18歳になる年度の末日までの高校生等（高等学校、高等専門学校、中等教育学校（後期課程）、専修学校、外国人学校）
2. 神戸市在住で神戸市内の高校等に通う場合
神戸市在住で市外の高校等に通う場合は、年額14万4,000円を超える費用の半分負担となります
3. 所得制限はありません
4. 4月上旬までオンラインでの申請

よこはたの考え方

親の経済力で学力の差が生じています。進学等をあきらめる子供たちを少しでも救いたいと考えます。また親の負担軽減が大事と考えます。通学費無料化はまずは第一歩と考えます。さらに渡し切り奨学金など必要と考えます。国などもさらに連携すべきと考えます。

中小・中堅企業住宅手当補助等補助金の創設

企業の住宅手当に上乗せ補助制度（最大14,000円）を創設しました。全国初の試みです。

市内の中小・中堅企業に勤務する
若手従業員の住宅手当を **上乗せ支援**

対象	補助率	上限
住宅手当（企業負担）	1/2	10,000円 / 月

さらに 高齢化傾向の強い地域に住む場合は補助率を **1/6を加算**

対象	補助率	上限
住宅手当（企業負担）	2/3	14,000円 / 月

事例 企業の住宅手当が1.8万円の場合

さらに1/6を加算



1. 神戸市在住の方（持ち家、公営・公社住宅、社宅・寮は除）
2. 正社員かつ就職した日から3年以内のもの
3. 30歳未満の方

よこはたの考え方

神戸市は大学卒業世代の神戸からの転出が多く、地元就職しない方が多いのが課題です。この施策で少しでも神戸に住んでいただける一助となれば幸いです。もう少し枠は広げても良いかと考えています。

不登校生徒への支援

神戸市に於いて、不登校児童生徒数は年々増加しています。要因は一人ひとり異なります。多様な学びの場の確保と積極的な情報提供が必要です。

- 自校への登校が困難な生徒を対象に不登校特例支援校（40名程度）を男女共同参画支援センター内に設置します（中央区橘通3丁目）
- 学級に入りづらい児童生徒にとって教室の以外の居場所である校内サポートルームを全小中学校に整備します。支援員の配置も行います。



よこはたの考え方

不登校生徒児童の原因は様々です。家庭や学校と教育委員会との連携も必要です。校内サポートルームなど学校内での対策は必要です。またフリースクールなどの支援もさらに強化せねばと感じています。また保護者支援の実施も強化が必要と考えます。

エンディングプランサポート

「おひとりさま」対策の具現化が始まりました。超高齢化が進んでおひとり暮らしの高齢の方が多くなっています。頼れる身寄りがないなど不安は高くなっています。

自身の葬儀や納骨先などへの不安を解消するために、生前の葬儀予約、納骨予定（葬祭事業者との契約）の手続きを市が支援する仕組みを構築しました。

- ひとり暮らしで頼れる身寄りのない市内在住の高齢者（65歳以上）月収19万円以下、預貯金が230万円以下、固定資産税が500万円以下が要件となっています。

申請者と葬祭事業者で契約し、市はその写しをリビングウィル（延命措置に関する生前意思）を保管します。死亡の際には、契約葬祭事業者が葬儀・火葬・納骨を行い、市はその履行を確認するものです。



よこはたの考え方

ひとり暮らしの65歳以上の方は40%にも異なります。病院の同行、買い物同行、入院・施設入居時の保証人の問題などニーズは高くなっています。きめ細かいサービスを各局ばらばらではなく、パッケージとして提供すべきと考えます。

バスケットゴール増設プラン

神戸を本拠地としてサッカーではヴィッセル神戸、INAC神戸、ラグビーではコベルコ神戸スティーラーズ、野球ではオリックスバファローズ、バレーでは久光スプリングスが活動しています。そしてバスケットでは神戸ストークスが活動予定です。

- 神戸ストークスの本拠地の移転を機に、現在市内50カ所のバスケットゴールを100カ所にいたします。
- 各中学校区に1ゴールを目指します。
- 各区に1つ（3×3）コートの整備
2024年に20カ所、2026年までに30カ所



よこはたの考え方

新港では10,000人収容のアリーナが建設中です。大規模コンサートなど賑わいのポイントとなる場所です。神戸ストークスを身近に感じていただき、子ども達に夢を与えてもらいたい。また神戸でのバスケット振興の中心地とし、障がいを持った方々にも楽しんでもらいたいと考えます。

自殺防止対策の強化

神戸市の自殺死亡数は高止まりの状況です。相談件数も増加傾向にあります。自殺者の40%以上が過去に未遂歴があります。また未遂を繰り返した後に死亡した方の80%が2回以上手段を変えて自殺に至っています。

未遂後に相談や支援に至らなかったケースも考えられ未遂者支援が今回のポイントです。

- 救急医療機関と連携した自殺未遂者フォローアップ
入院中の自殺未遂者、ご家族の同意を得た方に、心理職が入院時、退院後も継続して支援する。
- 自殺予防にかかる相談体制の充実
専門職がこころの悩みの電話相談や対面相談を実施します

神戸市こころといのちの電話相談→078-371-1855

月曜日から金曜日：10:30から18:30

くらしとこころの相談会

第1,3水曜日がハローワーク対面で相談を受けます

よこはたの考え方

健康面、経済的、子育て、介護など様々なお悩みがあります。大事なことは一人で悩まないことです。友人家族に相談できれば良いが出来ないパターンも多くあります。ここは行政が寄り添うべきと考えます。さらに女性専用、LINE相談など窓口がさらに必要です。

中央区に関する予算についてもご報告いたします

北野地区のまちなみ保存

- 旧山口邸の取得。
- 風見鶏の館・旧ハンター邸の移築にむけての耐震診断。
- 異人館を核とした新しいエリアルートの検討。

ポートアイランドリボーンプロジェクト

- 施設の老朽化、住民の高齢化など課題の多い、ポートアイランドの将来像の検討。
- 賑わい施設の誘致や市遊休地をシェアキッチン導入する。

JR元町駅整備

- 東口に於いて国が創設した鉄道バリアフリー料金財源を活用して、令和9年度までには念願のエスカレーターが整備されます。
- 西口についてはいまだに整備案が出ていないので県庁再編に合わせて早急に行いたい。

JR神戸駅のリノベーション

- 湊川神社や中央図書館、体育館など文化施設や元町への動線を確保する。
- 2030年には駅地下駐輪タワーなど整備し、憩える公園を駅北に整備します。

HAT神戸の活性化

- 市営住宅集会所の利用促進。
- 資源回収ステーションの開設。
- HATで開催されるイベントに併せての人流調査、エリアを超えた回遊性の向上。

ふきあいバス

- 今まで、福祉敬老パスが機能していませんでした。今回では割引が市バス同様に行われます。
- 敬老パスは小児料金
 - 福祉パスは無料